

さくらやまなみバスの運行による当社路線への影響について

1. はじめに

さくらやまなみバスは山口地区をはじめとした地域の皆様また関係者の皆様の長年にわたるご尽力の結果実現した路線であり、西宮南部地域と山口地区を直に結ぶバス路線の意義については理解申し上げます。当社としてもその趣旨を踏まえバス停の共用や利用客への案内など可能な範囲で協力させて頂いております。

しかし、南北間の輸送が本旨であるはずが、現実には南部間の移動が約5割を占めており、甲山高校以南が当社の既存路線（鷲林寺線）のエリアと重複することから、地域住民の方をはじめ、甲山高校、西宮北高校通学者など南部間を移動される旅客が転移する状況が生じております。

2. 既存路線（鷲林寺線）への影響について

さくらやまなみバスの定着につれ、重複する当社の既存路線については旅客の逸走が続いております。開業前に比べこの2年間で西宮山手線・鷲林寺線の輸送人員は約4.3%の減少（平成22年度と平成20年度の比較）となり、本年度は更に落ち込み同約8%程度の減少となる見込みです。（表1）また、停留所の乗降人員調査によると特に甲山高校の利用が減少しており、さくらやまなみバスでの南部間移動に転移しているものと考えられます。（表2）

表1：西宮山手線・鷲林寺線の輸送人員の推移

	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 予想
輸送人員(千人)	2,049	1,971	1,960	1,882
対前年比		-3.8%	-0.6%	-4.0%
対20年度比		-3.8%	-4.3%	-8.1%

表2：西宮甲山高校停留所【定点調査】利用者推移

西宮甲山高校停留所の乗降数		平成22年4月調査	平成23年6月調査	増減比
		乗降計	乗降計	
阪神バス鷲林寺線	総人員	483人	427人	▲11.6%
さくらやまなみバス	総人員	213人	288人	+35.2%

鷲林寺線は甲山高校の生徒が大きな比率を占める路線であり、甲山高校への生徒輸送を担っております。ただし需要が朝夕の通学ラッシュ時間帯に集中するため、片道需要の意味合いが強く、必要車両数の割に効率の悪い路線であります。従来より路線別収支において鷲林寺線は赤字路線となっており、更なる旅客転移は路線収支上大きな影響があります。

3. 鷲林寺線における輸送力の見直しについて

この様な状況の中、本年12月に鷲林寺線については輸送力の見直しを行わざるを得ないという結論に達しました。

減便により当社路線の利便性が低下することになり、甲山大師など当該路線東側を利用される市民の皆様にはご不便をお掛け致しますが、今後旅客数が大幅に増加することは考えにくいことから減便対応をとるものです。

4. 行政へのお願い

行政の施策として、さくらやまなみバスが南北間の公共交通の開拓と市域内の交流の活性化を目的としたものであることは理解いたします。何卒現状を斟酌頂き、市域全体の公共交通維持の観点から既存の民間路線との共存共栄を図るため、さくらやまなみバスの輸送のあり方、既存路線への対応等についてこれまで以上のご検討を賜りたいと考えております。

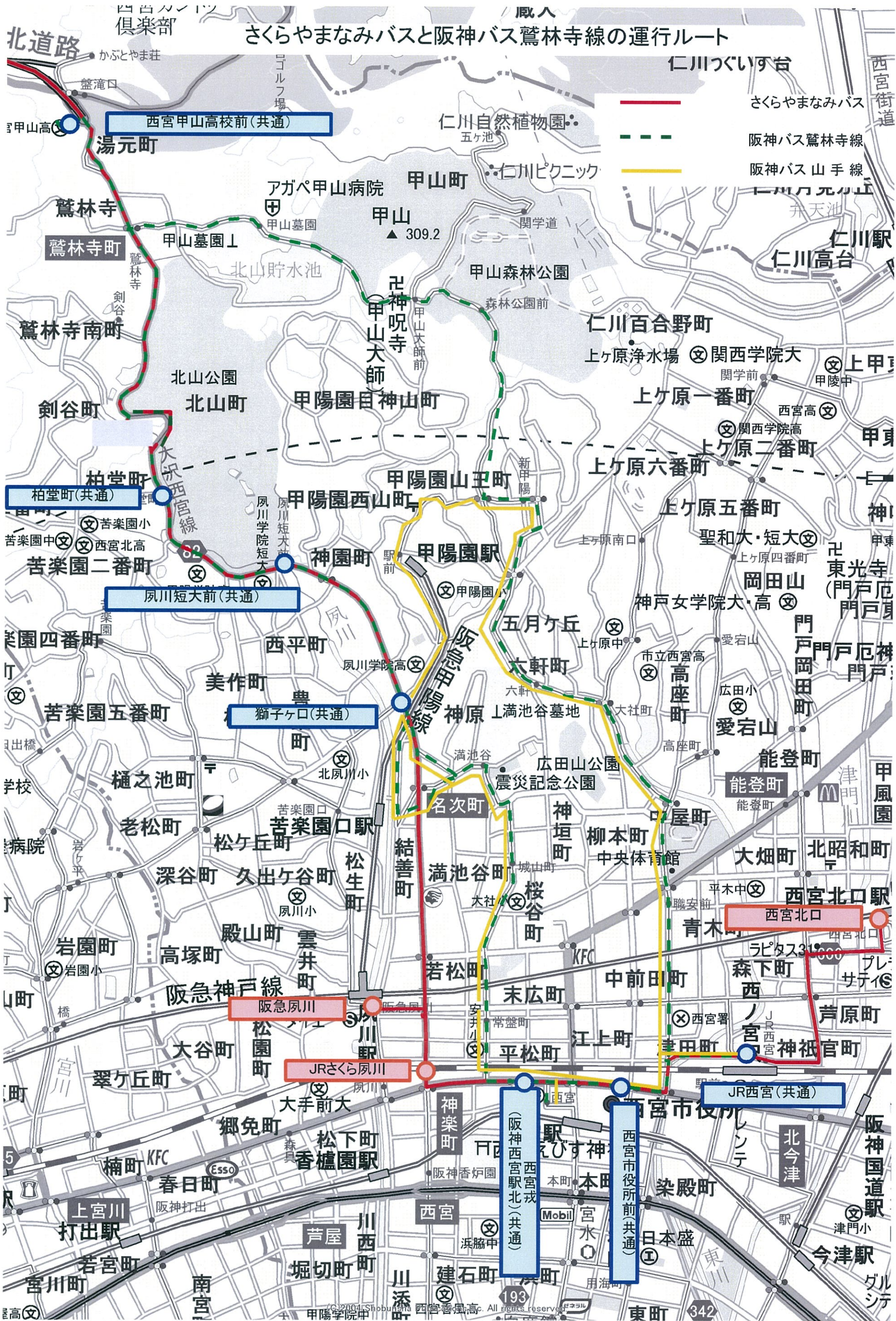
また、通学のアクセス確保という位置づけでこのままさくらやまなみバス路線を維持・拡大される場合、民間路線との共存共栄という観点から乖離してしまうのではと懸念しております。その際には、南部から甲山高校等への輸送を担いながら赤字である民間路線も支援対象として、既存公共交通の維持についても検討頂きたいと考えます。

以上、当社の事情を申し上げた次第ですが、何卒ご賢察の上ご検討賜りたくお願い申し上げます。

以 上

さくらやまなみバスと阪神バス鷲林寺線の運行ルート

仁川つくいす台



- さくらやまなみバス
- - - 阪神バス鷲林寺線
- 阪神バス山手線

西宮甲山高校前(共通)
 湯元町
 鷲林寺
 鷲林寺町
 鷲林寺南町
 剣谷町
 北山町
 北山公園
 甲山町
 甲山 309.2
 甲山森林公園
 甲陽園目神山町
 甲陽園西山町
 甲陽園山王町
 甲陽園駅
 神園町
 西平町
 美作町
 獅子ヶ口(共通)
 名次町
 結善町
 満池谷町
 若松町
 末広町
 平松町
 江上町
 津田町
 西宮市役所前(共通)
 西宮市役所
 西宮北口
 西宮北口駅
 西宮(共通)
 JR西宮(共通)
 JRさくら夙川
 阪急夙川
 阪急神戸線